

■奥むめお <大正デモクラシー>期に婦人セツルメント運動始め、<敗戦>後に{主婦連}創立、消費者運動の草分けに。

おくむめお

日清戦争終・1895＝ 福井市で、鍛冶屋の3代目和田甚三郎の長女に生まれる。

向学心に富む父は、7人の子供たちに男女の差なく勉学を勧め、

日露戦争始・1904＝ 9歳：

日露戦争終・1905＝10歳：

父から{青鞥}を与えられたりして育つ。

明治天皇没・1912＝17歳：

大正政変・・・1913＝18歳：

民本主義・・・1916＝21歳：_日本女子大学家政学部を卒業し、{労働世界}の記者となり、大杉栄らとも親交し、

社会問題に興味を持って、ストライキを応援したり、政談演説を聴いたりし、警察に拘引されたりする。

本格政党内閣1918＝23歳：_頭だけで考えることに行詰まり、学歴・姓名を偽って富士瓦斯紡績の女工となるも、直ぐに解雇。

ベルサイユ条約・1919＝24歳：奥栄一と結婚、1男1女を生む。_平塚らいてうの要請で新婦人協会設立に参加し、

大暴落・・・1920＝25歳：発足時には理事となって、_機関誌{女性同盟}の編集に当り、婦人参政権運動を推進。

原敬首相暗殺1921＝26歳：

水平社結成・1922＝27歳：_猛烈な請願運動をして、治安警察法を改正させるなどしたが、婦人大衆との距離を感じ、_同会解散後、

関東大震災・1923＝28歳：_職業婦人社を設立し、「婦人と労働」を創刊。関東大震災では社会運動犠牲者の救済も行う。

治安維持法・1925＝30歳：普通選挙実施に当たってつくられた政治研究会の中央委員となる。

家庭婦人にとって消費組合運動が最も合うと、

共産党事件・1928＝33歳：_婦人消費組合協会を設立し、委員長となるも、無産政党分裂の煽りを受けて解散、

世界恐慌・・・1929＝34歳：{家の光}の婦人委員を引受け、編集・販売部・農村婦人部などを軌道に乗せ、

海軍軍縮条約1930＝35歳：_東京本所に婦人セツルメントを設立。夫と別居して、

満州事変・・・1931＝36歳：

_託児所・妊娠調節部・健康相談部・消費組合部・簡易宿泊部をつくり、

芥川直木賞始1935＝40歳：_牛込に“東京働く婦人の家”創設。

日中戦争始・1937＝42歳：

第二次大戦始1939＝44歳：大蔵省の百億貯蓄実現のための婦人講師を皮切りに、

大政翼賛会・1940＝45歳：

日米開戦・・・1941＝46歳：

労働管理調査委員・大政翼賛会調査委員などに任命される。

敗戦・・・1945＝50歳：敗戦後直ちに生協運動を始め、

新憲法施行・1947＝52歳：_参院選に当選、同時に戦前の消費組合運動挫折の悔しさを果たすべく、主婦の組織化をめざして、「不良

マッチ退治主婦大会」を開催、主婦の会を全国につくり、

極東裁判決・1948＝53歳：_それらを束ねる{主婦連合会}を創立して、会長に就任。

三大事件・・・1949＝54歳：

_“エプロンとおしゃもじ”に始る復興期の消費者運動をリードして、{主婦連}の名を高めるとともに、

独立回復・・・1951＝56歳：

国連加盟・・・1956＝61歳：_東京四谷に主婦会館を建設、初代理事長となる。

なべ底不況・1957＝62歳：著書「あけくれ」、

インスタマン・1958＝63歳：

安保闘争・・・1960＝65歳：

タイタイ病始・1961＝66歳：全国婦人会館協議会を結成、

大学紛争始・1965＝70歳：3期務めた、_参議院議員を引退。

美濃部都知事1967＝72歳：

_以後も、主婦連の象徴的存在として長寿を保ち、

石油ショック1973＝78歳：

田中角栄逮捕1976＝81歳：

昭和天皇没・1989＝94歳：名誉会長となる。

村山事件・1995＝100歳：_没した。

「この人どんな人」、平凡社百科事典、「目でみる日本人物百科」、「わたしの20世紀・100人」、「日本の女性」、